

# 発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

**4月1日更新**

## 伊勢国分寺跡（第40次） 国分町

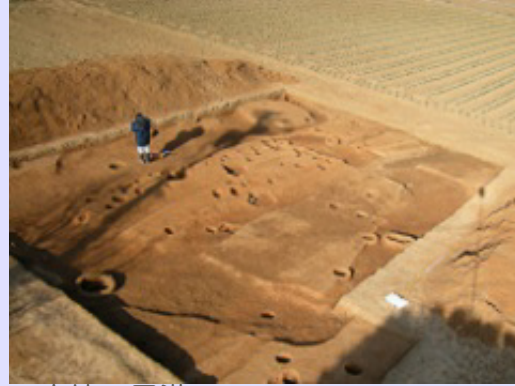
調査は終了しました。調査区にすっぽりおさまるように小さな方墳が見つかりました。墳丘は削られてなくなって周りの溝のみになっています。確実にこの古墳に伴う遺物は出土していないため年代は分かりませんが、周囲には6世紀後半から7世紀にかけての小古墳が多数分布しています（狐塚古墳群）。

ほかに中世のものと思われる小さな周溝も見つかっています。

東西に走るたくさんの溝は、古代の道路側溝の可能性もありますが、今回は建築の基礎が及ぶ範囲のみの調査のため完掘はしませんでした。



中世の周溝



古墳の周溝

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)  
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)  
[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

**3月1日更新**

## 伊勢国府跡（長者屋敷遺跡第34次） 広瀬町

県道辺法寺加佐登停車場線の津賀町西交差点を西へ600m、広瀬町への3差路の南北2箇所  
位置情報URL：6AGH-C区<http://maps.gsi.go.jp/?ll=34.887167,136.500363&z=18&base=std&vs=c1j010u0>  
調査の種類：学術調査  
調査原因：国府跡範囲確認  
調査期間：平成28年2月1日～平成28年3月15日（予定）  
調査面積：213㎡  
主な遺構：溝・土坑  
主な遺物：丸瓦・平瓦  
見頃：3月上旬まで  
現地説明会：実施しません。

今回の調査は2箇所で行っています。南野地区の6AGH-C区では北方官衙の方格地割が東に広がらないかを確認しました。検出された遺構は新しい道路側溝と地境溝のみで方格地割は東には広がらないとみられます。

もう1箇所は荒子地区の6AIF-E調査区で、方格地割の東辺溝と考えられる南野地区SD266の延長線上に調査区を設けたところ、ほぼ想定的位置で瓦を伴う南北溝を検出しました。方格地割が南に延長する可能性を示すものです。



6AIF-E区南北溝



6AGH-C区道路側溝と地境溝

## 伊勢国分寺跡（第40次） 広瀬町

鈴鹿市考古博物館のすぐ東側  
位置情報URL：<http://maps.gsi.go.jp/?ll=34.907142,136.565214&z=18&base=std&vs=c1j010u0>  
調査の種類：緊急発掘調査  
調査原因：個人住宅建築  
調査期間：平成28年2月19日～平成28年3月31日（予定）  
調査面積：144.5㎡  
主な遺構：溝・ピット・土坑  
主な遺物：瓦・山茶碗・土師器  
見頃：ただいま調査中です。  
現地説明会：実施しません。

個人住宅に建築に伴い発掘調査を実施しています。遺構検出作業が終わったところですが、南浦廃寺方面から国分寺のほうへ延びる道路跡や区画溝と見られる東西方向の溝が多数重なり合っているようです。



遺構検出作業



たくさんの溝が重なり合っています

## 伊勢国府推定地（周知の包蔵地外） 国府町

府南寺の北東側  
位置情報URL：<http://maps.gsi.go.jp/?ll=34.856848,136.513023&z=18&base=std&vs=c1j010u0>  
調査の種類：学術調査  
調査原因：国府跡確認調査  
調査期間：平成28年2月24日～平成28年2月26日  
調査面積：6㎡  
主な遺構：包含層  
主な遺物：灰釉陶器・土師器・木片  
見頃：終了しました。  
現地説明会：実施しません。

学童保育の施設の建設予定地で、浅い谷に水田が営まれています。この場所は周知の埋蔵文化財包蔵地には含まれていませんが、梅田遺跡と古刹府南寺に囲まれた良好な立地であるため、祭祀や廃棄に伴う包含層の有無を確認しておくため小規模なトレンチ調査を実施しました。地表から約1.2～1.8mの堆積があり、最下層の礫を多く含む暗灰色土層から灰釉陶器碗が出土し古代の包含層の可能性がります。遺物の量は極めて少なく両岸の集落からの流れ込みによるとみられます。



第1トレンチ  
底の礫混じり層から灰釉陶器出土  
磐城山遺跡（第8-2次）  
木田町



第2トレンチ  
水が勢い良く湧いてきます

検出された遺構の掘削作業が続いています。2月の後半は伊勢国分寺跡第40次調査の対応で少しお休みしています。



竪穴住居の壁溝と排水溝の検出状況



掘立柱建物の柱穴を掘っています

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)  
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)  
[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

**2月1日更新**

磐城山遺跡（第8-2次）  
木田町

現場が再開しました。3月中旬まで調査を行う予定です。すでに、竪穴住居多数のほか、掘立柱建物2棟・中世の道路側溝などが見つかっています。



掘立柱建物（倉庫）の検出



中世の道路跡

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)  
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)  
[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

**1月1日更新**

## 室内整理 考古博物館

12月は発掘調査がありませんでした。博物館の整理実習室では十宮古里遺跡（第5次）で出土した大量の中世から近世初頭にかけての遺物の整理作業が進められています。



土師質羽釜の復原パズル大会開催中



鉄釉と灰釉を掛け分けたお皿  
なかなかおしゃれです。

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)  
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)  
[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

**12月1日更新**

## 磐城山遺跡（第8次） 木田町

現場での補測作業は5日までで完了しました。年明けには第8-2次調査として次の調査区に取り掛かります。

## 十宮古里遺跡（第5次） 十宮四丁目

重機を使った井戸掘方の断ち割りなどの追加の調査作業を終え調査は無事終了しました。現場からは大きな井戸枠などが持ち込まれました。



暗文土師器など古代の遺物が  
まとまって出土した土坑？



井戸枠が整理室に届きました。

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)  
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)  
[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

**11月1日更新**

## 磐城山遺跡（第8次） 木田町

調査区全体の清掃を行い、全景写真の撮影を行いました。平面実測も完了し、後は高さ入れを残すのみです。平面図がまとまってくると調査時には確認できなかった掘立柱建物の存在に気付いたりするので、ふたたび現地にもどって確認を行っています。



調査区全景（南から）



掘立柱建物（北東から）

## 十宮古里遺跡（第5次） 十宮四丁目

調査は終盤にさしかかっていますが、相変わらず中世から近世初頭にかけての井戸を掘りまくっています。あわせて、来年度以降の調査対象地区で試掘調査を行い調査範囲の絞込みを行いました。



発掘調査風景



校舎の基礎の下からも井戸が見つかります

## 土師南方遺跡（第2次） 若松西二丁目

範囲確認調査の際、須恵器を伴う方形の落ち込みが検出されたため古墳時代の竪穴住居との想定で調査を行いました。ところが掘ってみると、古墳時代から鎌倉時代までの各時期の遺物を含む粘質土が詰まった約2m×6.5mの方形土坑が3基並列したものでした。現状では、砂質の土壌のうえに礎石建物を建てるための基礎地業（地盤改良）の跡ではないかと解釈しています。また、一箇所から近世瓦が集中して出土しました。掘り方ははっきりしませんが廃棄土坑が掘り込まれていたようです。この基礎地業が行われた時期は、鎌倉時代以降で江戸時代頃までとしか言いようがありません。埋土の遺物は付近の低地の包含層から粘質土を採取した際に持ち込まれたものでしょう。



遺構掘削作業中（南から）



完掘状況全景（北から）

一般収蔵庫（過去のニュース）  
特別収蔵庫（現地説明会資料）  
[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

**10月1日更新**

## 十宮古里遺跡（第5次） 十宮四丁目

引き続き、中世から近世にかけての井戸や土坑などが次々と検出されています。期待している弥生時代末から古墳時代の遺構に行き当たりません。



近世初頭の遺物が多く出土した土坑



校舎の下は大部分が流路でした。

## 伊奈富神社庭園（七島池） 稲生西二丁目

最後に池の排水施設を確認するため南東端を調査しました。以前使われていた導排水用の土管のレベル確認が目的でしたが、隣接道路の道路や上下水道の工事の際に塩ビパイプに替えられてしまったようで、本来の深さは確認できませんでした。しかし、ここでも護岸施設の一部を確認するという成果がありました。

調査の終了に際し、池の中のトレンチについては、確認された護岸の木組みを土嚢袋で保護したうえで、掘った面が分かるように不織布のシートを敷いた上で埋め戻しを行いました。



池南端のトレンチ



護岸施設と底面を保護しつつ埋め戻し

## 磐城山遺跡（第8次） 鈴鹿市木田町字上篠

今年度分の遺構掘削作業は終了しました。後は写真撮影と遺構実測を残すのみですが面積が結構あるので大変です。



有茎尖頭器が出土しました（2個目）。



作業風景（調査範囲は右のシートまで。）

## 土師南方遺跡（第2次） 若松西二丁目

近鉄伊勢若松駅の西南西630m。近鉄鈴鹿線の南側。

位置情報URL：<http://maps.gsi.go.jp/?ll=34.86632,136.610205&z=16&base=std&vs=c1j010u0>

調査の種類：緊急発掘調査

調査原因：個人住宅建築

調査期間：平成27年9月28日～平成28年10月16日（予定）

調査面積：63㎡

主な遺構：竪穴住居？土坑？

主な遺物：須恵器・土師器・灰釉陶器・山茶碗・青磁

見 頃：未定です

現地説明会：未定です

近鉄鈴鹿線に沿う、肥田から若松に向かって伸びる、かつての鈴鹿川氾濫時の自然堤防上に立地します。昭和47年に周囲がほ場整備された際に範囲確認調査が行われ弥生時代から中世にかけての遺物が出土しました。そのうち山田寺系軒丸瓦1点が出土したことで注目されています。

今回の調査は、個人住宅の建築に伴うもので、表土を除去したところ一辺6.5mの方形の落



ち込みが確認されました。現在、サブトレンチをいれて確認をしているところです。



検出状況



サブトレンチ掘削中

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)  
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)  
[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

**9月1日更新**

## 十宮古里遺跡（第5次） 十宮四丁目

旧校舎の基礎の間を掘る発掘調査で作業は大変ですが、順調に進んでいます。期待された弥生時代から古墳時代の遺構は一向に現れず、中世から近世にかけての井戸多数のほか溝、廃棄土坑などが検出され、多数の山茶碗、皿・土鍋などの土師質土器のほか瀬戸・美濃や常滑などの陶器類が出土しています。



基礎の間の調査



井戸を掘る

## 伊奈富神社庭園（七島池） 稲生西二丁目

池底のトレンチ3箇所と最大の島2に1箇所、そして岸に3箇所のトレンチを入れました。池は素掘りで底の青灰色のシルトを盛って島を構築してあることが確認されました。8月後半は天候が悪く、ただでさえどろどろのトレンチが大変なことになっています。土師器皿（ロクロ形成）、山茶碗、山皿、青磁碗、常滑焼甕など12世紀から13世紀にかけての遺物が主です。28日に指導委員会、30日には地元の方々による説明会を開催しました。



地元の子どもたちによる地域探検



トレンチ3の実測作業。

## 宮ノ前遺跡（第4次） 十宮三丁目

2次調査で確認されている溝の続きが検出されたほか、東西に流れ複雑に重なり合う流路が確認されました。また、中世以降に降る掘立柱列も確認され、柱穴の底には柱を支える石が据えられていました。



古墳時代の溝



調査区全景（東から）

## 磐城山遺跡（第8次） 鈴鹿市木田町字上篠

引き続き竪穴住居を主とした遺構掘削が続いています。8月はいくつかの現場が平行したため補助をしてくれる人員がいなくなったので、担当者は作業員に指示を出しつつ平面実測図も作成するという奮闘が続いています。



博物館実習生の体験発掘



磨製石斧も出土していました

**大谷古墳**  
**鈴鹿市木田町（大谷）字赤兀**

他の現場の合間を見ながらセクションの実測作業や写真撮影を続けています。

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)  
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)  
[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

**8月1日更新**

## 十宮古里遺跡（第5次） 十宮四丁目

旧神戸中学校跡地です。  
位置情報URL：<http://maps.gsi.go.jp/?ll=34.887215,136.578853&z=16&base=std&vs=c1j010u0>  
調査の種類：緊急発掘調査  
調査原因：宅地造成工事  
調査期間：平成27年6月25日～平成28年1月31日(予定)  
調査面積：2,802㎡  
主な遺構：溝  
主な遺物：中世陶器  
見頃：まだまだです  
現地説明会：未定です

旧神戸中学校の跡地です。北側の土地を民間に売却し宅地造成することに先立ち発掘調査を実施するもので、ようやく調査に着手することができました。対象面積が広いので3年ほどの継続調査になる予定です。平成5年のグラウンド整備に伴い実施された調査では、弥生時代末～古墳時代初頭の環濠、方形周溝墓群や古墳時代の溝・竪穴住居、中世末から近世初頭の土坑・井戸など多種にわたる遺構が確認されています。環濠の続きのほか各時期の集落跡の確認など成果が期待されます。



表土除去作業



遺構検出作業

## 伊奈富神社庭園（七島池） 稲生西二丁目

伊奈富神社の境内地です。  
位置情報URL：<http://maps.gsi.go.jp/?ll=34.836658,136.552881&z=16&base=std&vs=c1j010u0>  
調査の種類：学術調査  
調査原因：名勝整備に先立つ確認調査  
調査期間：平成27年7月21日～平成27年8月31日(予定)  
調査面積：100㎡  
主な遺構：庭園、溝、護岸  
主な遺物：土師器・山茶碗  
見頃：8月中  
現地説明会：開催を予定しています。

伊奈富神社の境内地にある、県指定の名勝庭園（七島池）の調査です。この池は室町時代の作とされる「勢州稲生村三社絵図」にも描かれているほか、弘法大師が一夜にして造られたという伝説も伝わっています。

島が、池の水位上昇にともない著しく侵食を受けていることから、その保存整備について伊奈富神社・三重県教育委員会・市文化課および地元で検討がすすめられています。それに先立ち、本来の島の規模や築造の方法・年代等の基礎的なデータを得るためにトレンチ調査を行うことになりました。博物館も調査に協力しています。

とりあえず2箇所トレンチをあげましたが、何しろ池の底ですから、落ちた腐葉が泥とともに厚く堆積していて臭気を放つうえ、絶えることの無い湧き水、それに伴い崩壊する壁に悩まされながらの調査です。



調査前の状況



掘削作業風景



1トレンチ，護岸の木組みが見える



2トレンチ

### 宮ノ前遺跡（第4次） 十宮三丁目

主要地方道四日市鈴鹿環状線，百々川橋北詰交差点を北（十宮町の住宅街方向）へ，近鉄線を渡って約400m。

位置情報URL：<http://maps.gsi.go.jp/?ll=34.889856,136.578255&z=16&base=std&vs=c1j010u0>

調査の種類：緊急発掘調査

調査原因：個人住宅建築

調査期間：平成27年7月1日～平成27年8月31日

調査面積：230㎡

主な遺構：溝

主な遺物：須恵器・土師器

見頃：8月中

現地説明会：未定です

第2次調査を実施した宅地造成地での住宅建築に伴う発掘調査です。2次調査で確認されている溝（流路）の続きが一部位検出されています。



表土除去作業



遺構検出作業

### 磐城山遺跡（第8次） 鈴鹿市木田町字西条

7月の後半になってようやく天候が回復し，作業が進み始めました。神戸中学校郷土史部の体験発掘や考古博物館の夏休み子ども体験博物館の発掘調査体験会などで現場を活用しています。



神戸中学校の体験発掘



体験発掘会

### 大谷古墳 鈴鹿市木田町（大谷）字赤兀

掘削作業は終わっていますが，7月前半の悪天候もあり，墳丘の測量やセクションの実測作業がまだ残っています。



社殿東トレンチ掘削



社殿西脇トレンチ



# 発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

**7月1日更新**

## 大谷古墳 鈴鹿市木田町（大谷）字赤兀

遺跡への経路：国道1号線下大久保町交差点を南（木田町方面へ）約300m、右手の農道に入ると見えるこじんまりした鎮守の森が古墳。

位置情報URL：<http://maps.gsi.go.jp/?ll=34.909285,136.556003&z=16&base=std&vs=c1j010u0>

調査の種類：本調査

調査原因：墳丘・主体部の確認調査

調査期間：平成27年6月2日～平成27年7月20日（予定）

調査面積：40㎡

主な遺構：墳丘・周溝

主な遺物：須恵器

見頃：7月上旬

現地説明会：実施しません

大谷古墳は鈴鹿川の支流の浪瀬川の左岸、台地の端部に立地します。直径は約40m、高さ5mあまりと市内でもトップクラスの巨大な円墳です。墳丘の北半は本来の墳丘の状態をよくとどめていますが、南半は墳丘を大きくえぐった窪みにすっぽりおさまるように若宮八幡宮が建てられています。かつて社殿が建てられた際には、須恵器や鉄刀、金環などが出土したと記録されています。主体部は巨石を用いた横穴式石室墳であったようで、社殿の周囲の石組みに石材の巨大な花崗岩が用いられています。

このたび、拝殿の改築の計画が持ち上がったため、その工事が古墳にどのような影響を与えるかの検討材料を得るため発掘調査を行いました。

社殿の前に入れたトレンチでは、石室の掘り方を埋め戻したと思しき落ち込みが確認できました。石室の床面は、社殿の建っている面から1.2m以上の深さがあるようです。

墳丘西斜面のトレンチでは、墳丘が一度削平された後に社殿を建てる際に出たと見られる須恵器の破片を含む排土が厚く堆積している状況がうかがえます。墳丘の南半分は度重なる工事によって大きく改変されてしまっているようです。



古墳遠景（北西から）



墳丘と拝殿（南西から）



社殿前のトレンチ掘削



墳丘西斜面トレンチ掘削

## 磐城山遺跡（第8次） 鈴鹿市木田町字西条

遺跡への経路：市街から四日市鈴鹿環状線の木田橋を渡って坂を上った信号三叉路「木田町」の左手の丘陵上。

位置情報URL：<http://portal.cyberjapan.jp/site/mapuse4/?lat=34.901599&lon=136.571574&z=15&did=std&crs=1>

調査の種類：本調査

調査原因：農地改良に伴う緊急調査

調査期間：平成27年6月2日～平成27年10月31日（予定）

調査面積：400㎡

主な遺構：竪穴住居・掘立柱建物

主な遺物：弥生土器・土師器・須恵器

見頃：夏ごろ

現地説明会：夏休みに発掘体験会を開催する予定です。

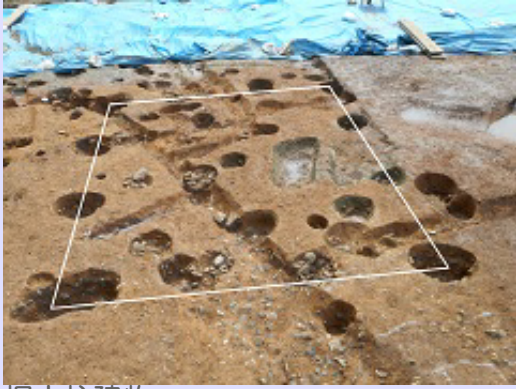
また始まりました。古墳時代前期・後期の竪穴住居、弥生時代後期の竪穴住居が重複して多数出てきています。その他、正方位の掘立柱建物もみつき、さらに建物群として展開しないかなと期待しています。また、混入品ですが縄文時代草創期の有茎尖頭器が出土しました。



古墳時代竪穴住居の掘削作業



遺構検出状況



掘立柱建物



有茎尖頭器出土状況

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)  
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)  
[ホームページに戻る](#)



# 発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

**6月1日更新**

**間瀬口遺跡  
鈴鹿市木田町**

調査は無事終了しました。検出された遺構は、おもに飛鳥時代の竪穴住居群でした。調査区北側は谷状の地形となっており、断ち割り調査も行いましたが遺物等は含んでいませんでした。



西区全景（南西から）



東区全景（南西から）奥に見える台地上に伊勢国分寺と河曲郡衙が立地します。



竪穴住居群(南から)



谷状地形（北東から）

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)  
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)  
[ホームページに戻る](#)

# 発掘ニュース

位置情報URLはおおよその位置を示すものです。地理院地図（電子国土Web）にリンクしています。

**5月1日更新**

間瀬口遺跡  
鈴鹿市木田町

調査はかなり終盤に差し掛かっているのですが、天候不順で実働日数が・・・厳しい厳しい。



竪穴住居の掘削作業



竪穴住居カマドの断ち割り

[一般収蔵庫（過去のニュース）](#)  
[特別収蔵庫（現地説明会資料）](#)  
[ホームページに戻る](#)